

群青

仙台市立第一中学校

第3学年だより

第3号 2021.4.24

『対面式』子どもたちがまた光りました

4月12日(月)の2,3校時,新入生を歓迎する校友会主催の「対面式」が行われました。前週の入学式準備に続き,また子どもたちが光りました。残念ながら,感染予防のため全校生徒が一堂に会することはできず,校友会,部活動紹介等ステージに登壇した子ども以外は,各教室でリモートによる見学の形をとりました。春季休業中の諸活動もなくなり例年よりも準備する時間が限られた中,校友会執行部,各部の代表は着々と準備をしたようで,当日は整然と式が進みました。1年生も真剣に耳を傾け,一中について理解を深めるいい機会になったようです。春休みが明け何日も経っていませんが,3年の子どもたちが大人びて見えると職員室で話題になっています。最初は「気のせいじゃないか?」と高を括っていましたが,この日の真剣な子どもたちの姿を見ていて,最上級生としての意識が高まっているんだと感じました。1年生のためであることはもちろん,自分たちの生活を高めよう,一中を高めようとする気概があり,子どもたちのことをとても頼もしく思いました。



『朝読書』⇒『朝学習』になりました

これまで毎朝 8:30 ~ 8:40 に継続して行ってきた朝読書は,全体の雰囲気が落ち着くととてもいい時間でしたが,本年度からは朝学習の時間になりました。先週の水曜から5教科をローテーションで実施していますが,子どもは皆真剣で,よいスタートを切ることができました。「継続は力」です。この取り組みを1年間継続し,基礎学力をしっかりと蓄えてほしいと思います。



4月20日(火)朝8:31の様子です

人は,人と人のつながりの中で生きていく生き物である
スピノザ(哲学者)

新学期作文

「最上級生になって」 4組 H.K

私には3年生として成し遂げたいことが5つあります。

まず1つ目は、最上級生としての自覚を持って行動することです。「後輩は先輩をまねる」という言葉があるように、後輩の手本になれるように頑張りたいです。そのために、「これは適切かどうか」と自問することを心がけようと思います。

2つ目は、あいさつをすることです。とても簡単なことですが、つい慌ててしまい何も言わず素通りしたり、小声になったりしてしまいました。まずは恥を捨てるところから始めようと思います。それに加え、先生よりも先にあいさつできるようにもなりたいです。

3つ目は部活動です。1, 2年と続けてきましたが、最近ではめんどくさきの方が勝ってしまっていました。中総体があるかどうかはまだ定かではない状況ですが、残り少ない期間ですので熱心に取り組もうと思います。そして後輩にもしっかりと指導したいと思います。

4つ目は、勉強の時間を増やすことです。時が経つのは早く、受験まであとわずかになりました。今の学習時間では足りないと思います。いきなりだと長続きしないので、徐々に時間を増やしたいと思います。そのために、改めて一日のスケジュールを立てたいと思います。そして粘り強く挑戦していきたいです。

最後は、この1年間を「楽しむ」ことです。去年は行事が縮小し、楽しむ機会が限られてしまいました。今年もどうなるかという状況下ですが、私は自分なりの楽しみ方を考え充実した1年を送りたいです。3年生には「最後の・・・」という言葉が付いてきます。悔いのないように過ごし、卒業式当日まで「楽しむ」ことを念頭に、クラスメイトといい思い出を積み重ねていきたいです。

「3年生の抱負」 5組 H.K

中学校3年生というのは不思議な学年だと思う。半分大人と言われつつも、子どもであることに間違いはない。受験に向かっていて、自分の自由な時間を作ることは難しい。3年生になったからといって集中力が急に上がるわけでもない。だからといって絶望の思いしかないというわけでもない。

そんな自分の目標は「前向きに生きること」だ。

高校受験があるから勉強に力を注ぐのは言わずもがな。時間がないからこそ、メリハリをつけて自分の自由な時間を頑張ると思う。目標をしっかりと設定すれば、それに向かって突き進む性格なので、その点は心配してはいない。

しかし、気にしなければならぬことが一つある。それは、気持ちが不安定になることだ。受験のプレッシャーに押しつぶされそうになって、ストレスがたまると思う。その発散のために、人をさげすむようなことはあってはならない。具体的には、人の悪口を言ったり、心の中でののしったりすることだ。友達、先生に対し、思っていることを何でもストレートにぶつけることができたならそれはそれで心地よいのかもしれない。実際、「塾のあの先生の教え方はわかりにくい」「実技教科の内申点はどうして2倍になる?」「**大臣の発言は気に入らない」・・・実際に言っただけで何も変わるわけがない。自分が100%正しいわけではないこともわかっている。それならば、そんなこと言わなければいいじゃんと思うが、心にとどめておくことも辛い。

この解決策は、普段から前向きに生きることと尽きるのだと思う。人に感謝の気持ちをもって接すること。人は誰にでも欠点はあるのだから、相手をしっかり受け入れること。

自分が変わるのと、他人が変わるのでは、自分が変わる方が簡単だ。

要は、負のイメージを減らしたいと言いたかったのだ。

「量より質」・・・そんな毎日を過ごしていきたい。

奨学金のご案内

学校に案内が届いていますので、お知らせします。

詳細の説明、手続きをご希望なされる場合、各担任にお申し出ください。

◆あしなが高校奨学金

〔申込みできる方〕

- ・中学3年で高校に進学を希望している生徒
- ・保護者が病気や災害、自死などで死亡、または1～5級の障害認定を受け、経済的な援助を必要としている家庭の子ども

◆交通遺児育英会

〔申込みできる方〕

- ・保護者等が自動車やバイクの事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な生徒・学生。応募者が生まれる前に保護者が後遺障害となった場合も含みます。